

市長のおでかけミーティング 大門メ縄協同組合

市長が市内の企業や店舗に出かけて話を伺う「おでかけミーティング」。従業員さんやお客さんとの意見交換や激励を行い、それを発信することで、市民の皆さんに岡崎の企業、店舗の良いところを知ってもらい岡崎愛を深めていただけるように取り組んでいきます。

第5回のおでかけ先は、大門メ縄協同組合。大門のしめ縄は約130年前から大門地区で受け継がれてきた伝統産業で、1本ずつ手作りのまごころあふれるしめ縄です。岡崎の地域ブランドとしての誇りについてもお話してきました。



大門で育てたしめ縄の技術

中根市長 とても良い香りですね。ちょうど最盛期ですか？

政幸さん はい。10月下旬から出荷が始まります。



中根市長 全国に出荷されているのですか？

政幸さん いいえ。しめ縄は地域によって異なるので全国共通とは言い切れません。愛知県内は基本的に大門のしめ縄の形が基本ですが、同じ県、市でも地域によって違うものを飾る場合もあるんで

すよ。

中根市長 初めて知りました。我々が購入できるのも 10月下旬頃ですか？

政幸さん お客さんに手に取ってもらえるのは 12月に入ってからになると思います。

中根市長 出荷から店頭には並ぶまでに 1カ月程あるのですね。お店側としては良いものは先に確保しておきたいから早く注文するっていうことかな。

政幸さん そうですね。我々は、作れる数、つまり供給量が決まっているので急に欲しいと言われても作れません。お店のかたから聞く話では、お客さんから「大門のしめ縄はいつ入荷するの？」という問合せが良く入るらしくて、それで早めに数を確保しておきたいということなんです。

中根市長 そういうことなんです。年末にお店に買いに行っても売り切れてしまっているね。早く買っておかないと。

素人の質問ですが、早く作ると色や香りが落ちてしまうなんてことはないのですか？



政幸さん 何度も乾燥機に入れて十分に乾燥させたり、空調管理された場所で保管することで色と香りを維持させています。

中根市長 なるほど。乾燥機にかかる燃料費も相当な金額でしょうね。今は高騰しているし。



政幸さん 灯油で動かしているのですが、だいぶ値上がってますね。

もともと、しめ縄には乾燥機は使っていなかったのですが、市内で初めて大門で穂ができる前に稲を刈り取ってしめ縄を作り始め、籾殻の乾燥機を改良してしめ縄用の乾燥機ができました。



中根市長 しめ縄の製造技術もここ、大門で育ったということですね。

職人技が光る大門のしめ縄

中根市長 ここでは3人で作業されていますが、他に従業員のかたはいらっしゃるのですか？

政幸さん 綱^なう（稲わらなどの材料を手でねじって、しめ縄を作る作業）仕事は、しめ縄作りをやめてしまった組合員さんたちをお願いしています。

元々、しめ縄は農家1軒1軒で全ての工程を行い出荷していましたが、農業をやめるかたが増え、1軒あたりの負担が増えてしまい担いきれず、分担



して仕事をする形となりました。

やめてしまったのは親世代で 80 代ですけども、その息子さんたちがやってくれています。

中根市長 息子さんたちは他に勤めながら、ということですか？

政幸さん そうです。土日にもやってもらうこともありますし、定年退職されたかたもみえます。

中根市長 彩華さんは、どれくらいやってるの？

彩華さん 3年目です。まだまだです。

中根市長 どんな作業をされていますか？

彩華さん 稲の長さは用途によって違うので、長さを揃えています。縷うにはまずこの作業が必要なので、外注さんを待たせてしまわないように、速く、正確に作業することを心掛けています。



中根市長 目がセンサーのごとく働いて、黙々とやっていらっしゃいますね。

彩華さん 稲わらの中に混じった雑草や色の悪いわらを抜いて、綺麗なものだけに選別して次の工程へ渡します。



消費者の目には見えない大変な作業ですが、ここで良いものを揃えないと品質に関わるので「極み」だと思って取り組んでいます。

政幸さん よく、絵の具で絵を描くときに、黄緑色を作るには緑と黄色増せるじゃないですか。綺麗な緑の中に枯れた黄色

のものが1本でも入ってしまうと、目には緑と黄色が混ざって映ってしまい、緑の鮮やかさがぼやけるんです。

1個のしめ縄を縛うのは10分もかからないのですが、その前の準備作業に3倍かかっているんですよ。

“大門産”というプライド

中根市長 輸入品のしめ縄もあるんですか？

政幸さん しめ縄は日本固有の文化ですが、製造は海外でもされています。例えば、ベトナムではいくつかの会社ができているのでたくさんの人を雇い、大量に製造しています。

中根市長 大門メ縄協同組合にとっては、脅威ですね。

政幸さん そういう背景もあって、令和元年に「大門のしめ縄」を地域団体商標として特許庁に登録させていただきました。

中根市長 ベトナムじゃない、“大門”だよ、ということですね。

政幸さん しめ縄
売り場には、輸入品
だけでなく、国産品
といっても大門の
しめ縄ではない商
品がいっぱい並ん
でいるので、そうい
ったものときちん
と区別されるよう
にしたいとも思い、
登録しました。



中根市長 買う人
にとっては、大門のしめ縄じゃないと嫌だ、というかたも多くいらっしゃる
んでしょうね。

政幸さん はい。とてもうれしいことです。「色が違う」とおっしゃって
いただきます。

ただ、買う人はサイズで値段を判断するようで。輸入品はこんなに大きく
てこの値段、大門のしめ縄は小さいのに高いな、と。それが現実のようです。

中根市長 そういうことなんですね。大量に作って量が売ればそれはそれ
でいいんだろうけど、作れる数も決まっているということですからね。売り
場も増やすのも難しいということですよ。

政幸さん ブラントとして少しずつ浸透してきたので、興味を持ってもらい、
手に取ってもらうことが大事だなと考えています。



中根市長 「大間のマグロ」みたいなブ
ランド力ということですよ。

政幸さん しめ縄の超ブランドといえば、
島根県出雲市飯南町のしめ縄と三重県伊
勢志摩地域の注連縄があります。

中根市長 そういう場所ではどんな取組をされているんだろう。

政幸さん 飯南町では町を挙げてしめ縄の知名度普及をバックアップしていると聞きます。大しめなわ創作館という、しめ縄を作る工程が見れたり、体験などもできます。



中根市長 大門のしめ縄も、観光客でにぎわう岡崎公園のみやげ店「おかざき屋」などで販売したらどうか、と考えたけど、これまでの話を聞いていると、新しい売り場が必要というわけではなさそうだね。

政幸さん ものを売るんじゃなくて、ブランドを強化するための仕掛けが必要だと考えています。全国に大門のしめ縄というものを知ってほしいです。

出雲空港は、空港の看板がしめ縄になっているんですね。出雲市内の至るところにしめ縄のイラストが使われていたり。市全体でPRしているな、と感じます。

中根市長 なるほどね。例えば、子どもに岡崎の絵を描かせると、今はだいたい、岡崎城、花火、桜になるけど、そこにしめ縄が入ってくると良い、というわけだ。



政幸さん ブランド力を付けて高い値段でも買ってもらえるようになれば、生産者が生活でき、後継者も付き、継続していけると考えています。

中根市長 市民のかたが、この真っすぐな稲、しめ縄の原料を見る機会も今はないですから、市役所にも飾りたいですね。

作っている姿を見ているとやってみたくもなる。動画で発信するもの良いね。

大門のしめ縄は、全て手作りで、まごころがこもったしめ縄だよ、と発信していきましょう！



おでかけデータ

訪問日:令和5年 10月 13日

訪問先:大門×縄協同組合

岡崎市愛知県岡崎市大門 1-13-5

岡崎の地域ブランド～大門のしめ縄～

◆約 130 年前から大門地区で受け継がれてきた伝統産業

◆「岡崎市農林産物ブランド化推進品目」の「地域ブランド推進品目※」

市場・消費者から信頼され、喜ばれる産品となり、農林業の活性化を図る

※地域ブランド推進品目(3品目)

藤川宿むらさき麦、大門のしめ縄、法性寺ねぎ



◆地域団体商標※として特許庁に登録(令和元年 5月)

農林産物では市内で初。

※「地名+商品名」からなる商標及び地域ブランドを適切に保護することで、信用力・競争力の強化及び地域経済の活性化を目的とした国(特許庁)の制度